

**「株式会社 KADOKAWA K+ (旧:株式会社 TIMO Japan)」の連結子会社化について**

株式会社 KADOKAWA（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：夏野剛、以下 KADOKAWA）は、2022年8月31日に株式会社 TIMO Japan に新規の資本投資を行い、連結子会社化を完了したことをお知らせいたします。

また、今回 KADOKAWA のグループ会社となった株式会社 TIMO Japan は11月1日付で社名を株式会社 KADOKAWA K+に変更いたしました。

**■資本投資と事業推進の背景について**

日本市場にのみならずグローバル市場において急成長している韓国コンテンツの事業を推進することで、さらなる KADOKAWA グループの成長機会を創出します。また、メディアミックスの一環として、韓国コンテンツと当グループの出版、デジタルおよび映像事業とのシナジー戦略で事業を多角化していきます。

**■旧 TIMO Japan について**

株式会社 TIMO Japan は2012年の会社設立以降、韓国ドラマと映画を中心とした100作品以上の版權ライセンスと流通事業を遂行しました。また、韓国を代表する俳優、パク・ボゴム、キム・スヒョン、チ・チャンウクなど10数名のアーティストの、日本国内におけるマネジメント、ファンクラブ運営、イベント事業を行うことで映像流通事業との相乗効果を生み出し、日本を代表する韓流専門企業として成長しました。

**■KADOKAWA K+の今後の戦略について**

KADOKAWA K+は韓国の映像 IP 権利とアーティストコンテンツの拡大、および事業の多角化戦略を通して KADOKAWA グループのメディアミックスリソースを結合した成長を加速させていきます。また、KADOKAWA の IP を基盤にした日本／韓国における映像制作事業で IP のグローバル事業化を推進します。

KADOKAWA K+を率いる新体制の経営陣として、株式会社 TIMO Japan 代表取締役の関丙浩（ミン・ビョンホ）と、株式会社 KADOKAWA 顧問 兼 韓国事業総括担当の徐賢東（ソ・ヒョンドン）が共同代表取締役に就任いたしました。今後の事業方針については、次のようにコメントしています。

<関丙浩（ミン・ビョンホ）（旧 TIMO Japan）氏コメント>

この度、KADOKAWA グループの一員となったことで、これまでに培ってきた韓国アーティストのマネジメントやコンテンツ関連事業での経験と専門性を極大化できる土台が用意されました。KADOKAWA グループの豊富な IP と幅広いネットワークとのシナジー創出を基盤に、「スターとファン」、「日本と韓国」の架け橋の役割を担う文化コンテンツ企業へとより一層成長して行きたいと考えております。

新たなスタートを切る KADOKAWA K+が KADOKAWA グループの韓国関連 IP 事業を牽引する会社になるべ

く努力する所存です。

<徐賢東（ソ・ヒョンドン）（株式会社 KADOKAWA）氏コメント>

株式会社 TIMO Japan は過去 10 年間、日本の市場において韓流事業の代表格ともいえる放送コンテンツ事業と俳優を中心としたアーティストの日本国内マネジメント及びイベント事業を推進し、成果をあげています。

今後、KADOKAWA グループの豊富なリソースと連動することで、日本と韓国をつなぐ最高のコンテンツ専門企業としてさらに成長していきたいと思っております。

#### ■株式会社 KADOKAWA K+ 概要

<社名>

新社名：株式会社 KADOKAWA K+（読み：カドカワケイプラス）

旧社名：株式会社 TIMO Japan

<公式サイト URL>

<https://kadokawa-kplus.com/>

<代表者>

代表取締役社長 関丙浩（ミン・ビョンホ）

代表取締役 徐賢東（ソ・ヒョンドン）（株式会社 KADOKAWA 顧問 グループ経営企画局）

以上

---

#### 【本件に関する報道関係からのお問合せ先】

株式会社 KADOKAWA 広報部 E-mail：pr-dept@kadokawa.jp

KADOKAWA グループポータルサイト：https://group.kadokawa.co.jp/